

# AISOKEN

## COMPANY PROFILE

会 社 案 内



第三者建材試験機関

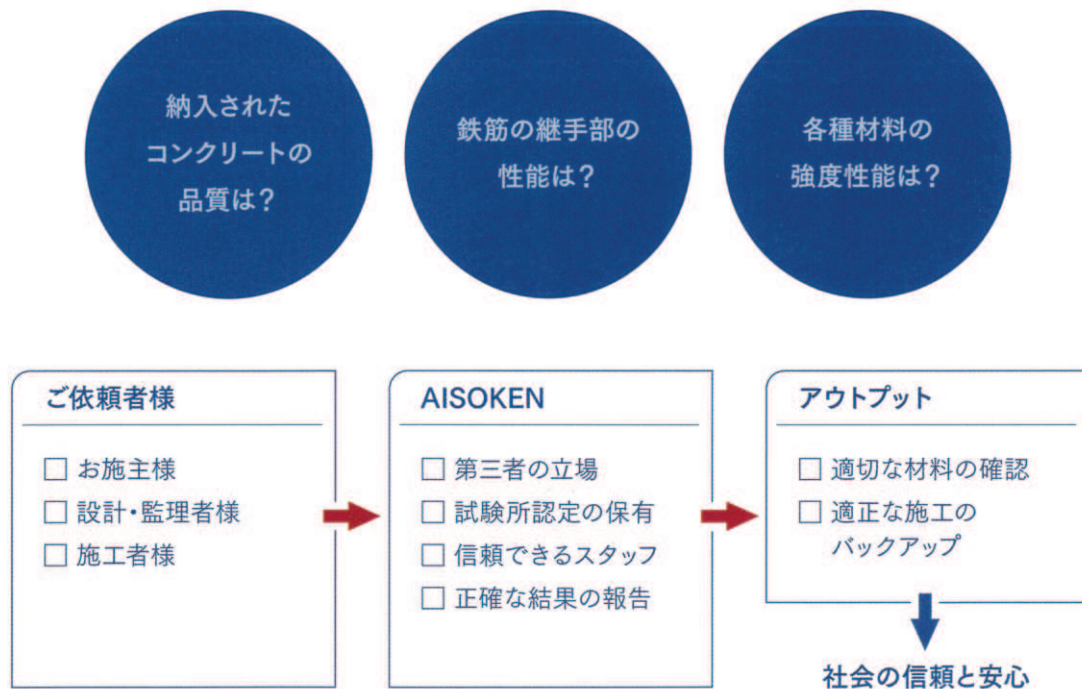
愛建総合設計研究所



## BUSINESS POLICY

### 人の命を預かる、という覚悟の下に。

建築・土木にかかわらず、建設工事には必ず材料が必要であり、建設構造物の性能は適切な材料と適正な施工によって設計の要求に応えることができます。現在、コンクリートや鋼材は建設に欠かすことのできない材料であり、“あたりまえ”に使用していますが、材料の品質も“あたりまえ”に適切なのでしょうか。AISOKENは、お施主様、設計・監理者様、または、施工者様からのご依頼により、第三者の立場で材料の品質確認試験・検査を行い、その結果を報告いたします。試験・検査スタッフは必要な資格、技術、知識を有し、日々の現業によりスキルアップを図っており、より正確な結果の報告に努めております。信頼できるスタッフが第三者の立場で実施する試験・検査に適合する材料は正に適切な材料であり、適正な施工のバックアップにつながるものと考えます。AISOKENは上記のシステムによって建設構造物に対する社会の信頼と安心の醸成に貢献したいと考えます。





# SDGs

## SDGs宣言

当社は国連が提唱する「持続可能な開発目標(SDGs)」に賛同し、高度化・多様化する建設材料の品質管理に対し認証事業を通じて持続可能で豊かな社会の実現に貢献することを宣言します。

株式会社愛建総合設計研究所 代表取締役 關 建祐

## SDGsの取り組み

### 品質管理

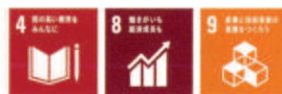
建設材料の品質管理の在り方を日々研究し、正確な認証・試験・検査サービスを提供することにより、建設業界の品質管理向上に貢献してまいります。



具体的な取組み JNLA登録事業者、ISO/IEC17025取得

### 人材育成

適切な能力開発や教育機会を提供することにより、建設材料の理解を深め、品質管理システム、施工ノウハウ等を習得し、人材育成に注力してまいります。



具体的な取組み セミナー・技術指導講座、資格取得援助制度

### 働きやすい環境づくり

全従業員が働きやすい環境づくりを進めることにより、ワークライフバランスの実現を目指してまいります。



具体的な取組み コンプライアンス体制の整備、時差出勤制度、定時退社の推奨

### 地域パートナーシップ

試験検査業務が公正かつ適正に行われ、業界の人材育成に寄与するために同業他社と相互に協力してまいります。また、地域社会への貢献活動も実施し、地域と共に発展してまいります。



具体的な取組み 愛知県においてコンクリート試験機関による会議体発足の推進、赤い羽根募金、エコキャップ運動





CONCRETE TESTING

## コンクリート試験

### 確かな試験で建物の品質を確実にする。

コンクリートは最も使用頻度が高い建設材料の一つであり、日常的に“あたりまえ”に使用されています。この“あたりまえ”の材料を安心・安全に使用するために

は確かな品質管理が欠かせません。当社は第三者試験機関として現場・試験室を問わず、コンクリートの品質管理に取り組んでいます。

FRESH CONCRETE TEST

### 生コン試験

当社は第三者試験機関として打込まれる前の生コンについて試験(受入検査)を実施し、試験結果を現場管理者へ報告します。JNLA登録試験所として一貫したコンクリートの品質確認を行いますので、安心して試験のご依頼をいただいております。これが当社の強みです。



生コン試料の  
サンプリング



生コン性状確認試験  
(スランプ管理)



生コン中の  
単位水量測定



生コン性状確認試験  
(フロー管理)

COMPRESSIVE TEST

### 圧縮試験

コンクリート、モルタルの圧縮試験を行っております。圧縮試験には一般に円柱供試体を使用しますが、角柱など変則的な試験体についても柔軟に試験のご要望にお応えしてまいります。また、静弾性係数の測定も行っております。



一般的な供試体の試験



小径コアの圧縮試験  
(直径20mm程度)



静弾性係数試験  
(コンプレッソメーター使用)



静弾性係数試験  
(貼付けゲージ使用)

その他、コンクリートやモルタルを対象として中性化深さ測定試験や長さ変化測定試験などの各種試験を行っております。



## 使用頻度の高い鉄筋の異常を見逃さない。

鋼材はコンクリートと同様に頻繁に使用される建設材料です。特に鉄筋は使用頻度が高く素材の品質は安定しています。しかし、鉄筋を継ぎ足すために設けられる“継

手”は構造的な弱点になり得るため、品質確認が欠かせません。当社では圧接・溶接・機械式・DBといった様々な鉄筋継手試験体を対象とした試験を行っています。

### FRESH CONCRETE TEST

## 鋼材の引張試験



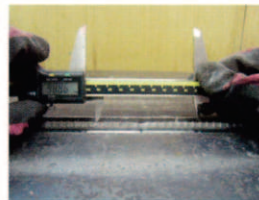
鉄筋継手部の引張試験

試験機によって継手試験体を引っ張ります。この試験によって、降伏点、引張強さ、破断位置を確認します。



DBヘッド定着工法引張試験

本工法の試験体を引っ張るためには専用の治具が必要となります。当社では全ての鉄筋径に対応できるように治具を整備しております。



破断伸び測定

継手のない素材の試験体では、降伏点、引張強さのほかに破断伸び、絞りを測定します。

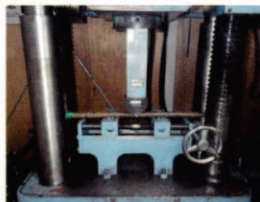


DBヘッド定着工法試験体の破断位置確認

DBヘッド定着工法試験体の引張試験では、降伏点、引張強さのほかに、写真に見えるリング状の金属付近で破断しないことが重要な確認項目になります。写真では適切な位置で破断していることが確認できています。

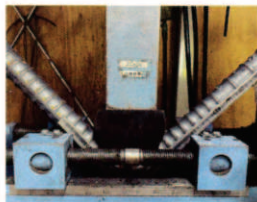
### BEND TEST

## 鋼材の曲げ試験



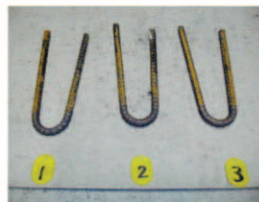
鉄筋継手部の曲げ試験(試験体セット)

専用の治具に試験体をセットします。



鉄筋継手部の曲げ試験(載荷)

一定の載荷速度で試験体を曲げていきます。試験体が所定の角度まで曲がったことを確認したら試験終了です。



曲げ試験結果(素材試験体)

写真は押曲げ法(170°)を実施した素材試験体です。試験体の湾曲部外側に亀裂などの欠点があるかどうかを確認します。



曲げ試験結果(継手試験体)

写真は押曲げ法(90°)を実施した溶接継手試験体です。試験体を90°曲げるまで溶接部で破断しないこと、試験後、湾曲部に亀裂などの欠点がないことを確認します。裏当て材と載荷方向との関係によって“表曲げ”と“裏曲げ”があります。

その他、継手部形状を評価する外観試験や、溶接金属の溶け込み具合や圧接による母材の結合具合を評価するマクロ試験などがあります。

## お客様の“困った”を解決するために。

2016年に発足した技術部は、建築材料試験室が生コン試験、コンクリート圧縮強度試験、鋼材引張試験といった日本産業規格(JIS)に準拠したJNLA登録試験所としての試験を主な業務とする一方で、コンクリート構造物の劣化調査・火害診断を始め、規格や仕様のない

試験の計画・実施、現場トラブル解決への対応などに取り組んでいます。おかげさまで年々業務量は拡大しており、それにつれて様々な知見やノウハウを蓄積できていると感じております。お客様の“困った”を解決できるように、精一杯努力いたします。



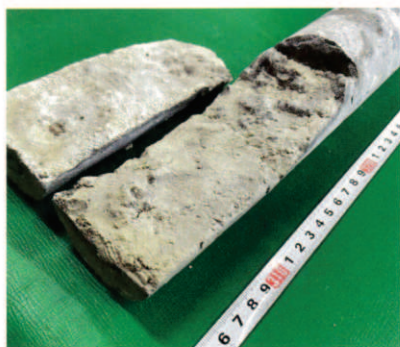
外壁調査



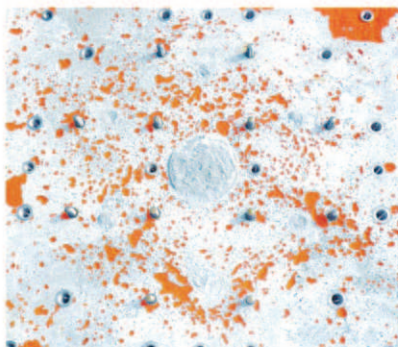
コア抜き



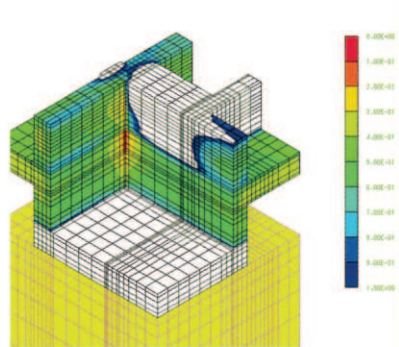
火害診断



コールドジョイントの健全性調査



ベースプレート充填率測定



マスコンクリート温度ひび割れ解析



AISOKEN

JNLA

## 建築士事務所のルーツを大切に、 偽りのない試験結果を提供する。

AISOKENは独立行政法人製品評価技術基盤機構(NITE)により、適正なマネジメントシステムおよび試験技術を有する試験事業者として認定され、国内で初めて建築士事務所として「JNLA試験所登録制度」の登録試験所となりました。建築基準法第一条の精神を忘れることなく、公共の福祉の増進に寄与していきたいと考えています。

当社は産業標準化法に基づく試験事業者登録制度(JNLA)への登録試験事業者として「コンクリート圧縮強度試験」「金属材料引張試験」など6件のJIS規格試験方法について登録しています。登録した試験方法による結果には左記の標章を付けた成績書を発行することができます。「040185JP」は当社の登録事業者番号です。JNLAは登録基準として国際標準化機構および国際電気標準会議が定めた試験所に関する基準(ISO/IEC17025)を用いています。



040185JP

### 「JNLA試験所登録制度」の 登録試験所として確かな試験結果を提供

AISOKENの主な試験業務は、ISO/IEC 17025、JIS Q 17025の要求事項を満足しており、試験に関するご相談から試験結果のご報告まで、顧客満足を第一としたシステムを運用しています。信頼できるスタッフが第三者の立場で実施する試験は、必ずお客様の満足を得られるものと自負しております。

### 建築士事務所と 第三者試験所との融合

AISOKENの特徴は建築士事務所と第三者試験所との融合にあります。お客様から頂戴しました建設材料に関する疑問・質問、建設工事におけるトラブル解決のご相談に対して、建築士の視点から問題を大局的に捉え、第三者試験所の視点から解決に必要な試験を的確に実施する、このシステムにより、確実な裏付けを伴った解決策のご提案が可能となります。

### 専門家集団により 適切なアドバイスを提供

AISOKENは、一級建築士、コンクリート診断士、コンクリート主任技士、コンクリート技士、コンクリート採取試験技能者などの有資格者が規格に準拠した手順で確実に試験を実施し、正確な試験結果をご報告いたします。有資格者による結果の報告は、必要な場合、お客様へのアドバイスにつながると思います。第三者専門家集団による試験の実施は、大変有意義なものになることをお約束いたします。

# COMPANY DATA

## 概 要

名 称	株式会社愛建総合設計研究所
所 在 地	〒448-0813 愛知県刈谷市小垣江町亥新田20-2
代 表 者	代表取締役 關 建 祐
資 本 金	2,500万円
主な業務内容	コンクリート試験(フレッシュ性状確認試験・圧縮強度試験)、鋼材試験(引張・曲げ・超音波探傷検査)、 コンクリート構造物に関する各種調査、技術相談、研究受託
登 録	一級建築士事務所《愛知県知事登録(い-15)第7706号》 産業標準化法 試験事業者登録制度(JNLA) ・登録番号 / 040185JP ・登録年月日 / 平成19年6月27日 ・登録区分 / レディーミクストコンクリート試験(JIS A 1101, JIS A 1128, JIS A 1150) コンクリート・セメント等無機系材料強度試験(JIS A 1108) 形状・寸法・質量・密度試験(JIS A 1152) 金属材料引張試験(JIS Z 2241)

## 沿 革

1973(昭和48)年 … 初代所長關征世が住宅、ホテル、社寺の設計・監理を開始  
1996(平成8)年 … 第三者建材試験機関を開始  
2004(平成16)年 … 2つの試験についてJNLA試験所認定制度の認定を得る  
(JIS A 1108, JIS Z 2241)  
2005(平成17)年 … 關征世がJIA登録建築家として認定される  
2007(平成19)年 … 3つの試験を追加して新JNLA登録制度へ登録する  
(JIS A 1101, JIS A 1128, JIS A 1150)

2010(平成22)年 … 關征世の死去に伴い、關建祐が二代目所長に就任  
2016(平成28)年 … 技術部発足  
2017(平成29)年 … 1つの試験を追加してJNLA登録を更新する  
(JIS A 1152)  
2023(令和5)年 … 名古屋営業所を開設



### 第三者建材試験機関

(独立行政法人 製品評価技術基盤機構 認定試験場)

## 株式会社 愛建総合設計研究所

〒448-0813 愛知県刈谷市小垣江町亥新田20-2

TEL: 0566-22-6100 FAX: 0566-22-6449

E-mail: info@aiso-ken.co.jp

